

藤沢市立小糸小学校



小糸小だより

2026年（令和8年）6月1日発行

学校教育目標

じょうぶな子
思いやりのある子
よく考える子
がんばる子
進んでする子



6年生が体育大会に参加してきました！！

5月20日（水）6年生が体育大会に参加してきました。藤沢市内の全公立小・特別支援学校の6年生が参加する、大きな大会です。といっても、全校が一度に参加するのは会場の関係もあって難しいので、全部で3回の日程で行われます。今年度、小糸小学校は最初の日程での参加でした。善行にある、とても大きな「神奈川県立スポーツセンター」という立派なスタジアムで競技ができる経験は、なかなかない貴重な機会です。子どもたちには、貴重な経験なので思いっきり自分の記録に挑戦すること、空いている時間には、一生懸命頑張っている仲間の応援をして、良い一日になるように、と話して出発しました。とても暑い日でしたが、子どもたちはそれぞれの記録に挑戦し、ベストを尽くしたように思います。また、応援席での気持ちのこもった応援は、隣に座った他校の子どもたちからも「すごいね！」といわれるくらい見事に声がそろった熱いものでした。小糸小学校の良いところがまた発見できた一日でした。



閉会式では、競技委員長の先生から、「自分の記録に挑戦することに意義がある。」という事をお話いただきました。その時の結果に一喜一憂するのではなく、当日に至るまでにどのような努力を積み重ねてきたかという姿勢、これまでの自分の記録を上回れるように挑戦すること、そのこと自体に価値があるということだと思います。人生は、良い結果だけが出るわけではありません。思うような結果が出なくても、それまでの過程がすでに価値あるものとして自分の力となって身についているということだと思います。5年生以下の学年の皆さんにも、学年に応じた学習の機会があります。その時々、自分にとってのベストを尽くす、そういった気持ちをもって日々の学校生活を過ごしてもらいたいと思っています。小さな積み重ねが、やがて自分の大きな力となります。それが、自分の自信につながり、自己肯定感を高めていくことにもつながっていくのでしょうか。日々の小さな積み重ねを大切にできる、そんな人に育ってほしいと思います。



児童支援担当より



先日保護者の方から、放課後の殿山公園近辺について情報提供をして頂きました。自転車を道路に置いたままその場を離れてしまったり、猛スピードで自転車を走らせたり、ゴミを置いたまま帰宅してしまったりといった内容でした。保護者の方も声かけをして下さったそうですが、学校でも各クラスで担任から話をしました。

放課後のこと、我々が見えないところでの出来事なので、情報提供して頂きありがとうございました。それと同時に、保護者の方が子ども達に声かけをしてくれたことが大変ありがたく感じました。以前、別の保護者の方から「通学路とはちがう道で帰宅してきて、帰りが遅くなったため、我が子だけでなく一緒に下校した子どもたちにも話をしました。」という話を伺ったことがあります。また別の保護者の方からは「〇〇君が家に遊びに来て、冷蔵庫の中を勝手にあけて・・・小さい頃からよく知っている子だったこともあり、マナーとしてそれはダメだと我が子のように叱ってしまいました。」という話を伺ったこともあります。どの話も我が子だけでなく、皆で子どもたちを育てるという姿勢に、頼もしく、心強く感じました。

私が小糸小に異動してきた時も、横のつながりが強い学校だなと感じました。今もなお、そういった様子が見られるということは、小糸小学区の強みなのかもしれません。引き続き、皆で子どもたちの成長を支えるという視点で見守って頂けるとありがたいです。よろしくお願いします。

保護者の方から殿山公園の話を伺った翌日の放課後に、学区内の公園（殿山公園⇒台谷公園⇒舟地藏公園⇒ロケット（小糸）公園⇒城下公園）をまわってみました。出発の時に学区内のゴミ拾いをして帰ってきた4年2組の子ども達数人と担任の先生に出会いました。私も子どもたちに感化され、ゴミを自転車のかごにいれながら公園を巡りました。最近自主的に行っている活動のようで…いつもありがとう！

（児童支援担当教諭）

クラブ活動



5月27日（水）に今年度の1回目のクラブ活動が始まりました。5・6年生が、自分たちの希望するクラブに所属し、同じことに興味を持った人たちで、やってみたいことに取り組む活動です。普段のクラスとはまた違う人間関係の中で、それぞれがやりたいことを追及したり、同じ目標に向かってチームとして高めあったりするなど、子どもたちにとっては楽しみにしている活動です。

異学年の交流を行うことで、6年生は上級生としての優しさや責任感を、5年生は、上級生に優しく教えてもらったことを、次の年に自分たちが最上級生となったときに、次の代につないでいくのです。そうやって、子どもたち同士で責任感や最高学年としての自覚などを引き継いでいくこと、これが学校で異学年での活動をする大きなねらいの一つです。

感謝の気持ち

先日、おはようボランティアのみなさんとコーディネーターの さんに学校に来ていただき、朝会のタイミングで子どもたちに紹介をしました。おはようボランティアさんは、小糸小の子どもたちのために毎朝のように通学路を見守ってくださっています。私も時間のある時は登校時間に合わせて通学の様子を確認しつつ、学校周辺を歩いているのですが、自分から進んであいさつができる子がだんだん増えてきているように思います。自分たちのことを見守ってくれている方に、感謝の気持ちをもってあいさつができる。これはとても素晴らしいことだと思います。

朝会では、そのことにも触れながら、実は自分たちが毎日学校に通うために、保護者のみなさんが朝食の準備をしてくれたり、衣服の準備をしてくれたりしていること。それは当たり前のように思っているかもしれないけれど、毎日続けるということは、とても大変なことなんだよ、と話しました。

子どもたちが日々の当たり前だと思っていることにも、感謝の気持ちが持てるようになると、うれしく思います。



※おはようボランティアさんは、随時募集しています。ご自宅近辺での見守りだけでも構いませんのでやってみようという方はお気軽にお声掛けください。

*『大庭と小糸みんなの学校運営協議会』（『みんなのコミ』）

小糸保護者代表兼コーディネーター

藤沢市教育委員会では、保護者や地域の方が学校の応援団として、学校運営に参画する学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を令和3年度（2021年5月）からモデル校2校で試行導入し、令和4年度（2022年5月）には市内13地域に1校ずつ追加設置するなど、段階的に全市立小・中・特別支援学校への設置を目指しています。『地域とともにある学校づくり』を進め、子どもたちの豊かな成長と健やかな育ちを支えていきます。（藤沢市HPより）

小糸小学校では、大庭小学校、大庭中学校と3校での統合型学校運営協議会を昨年度（R6年）より行うことになりました。学校運営協議会の委員は、保護者、地域住民、学校教職員、学識経験者、市民センター・公民館職員・関係行政機関などを構成員としており本校からも保護者代表の方1名（兼コーディネーター）に出ています。

3校統合型ということで名称は『大庭と小糸みんなの学校運営協議会』略して「みんなのコミュニティスクール」で『みんなのコミ』です。

『地域とともにある学校づくり』を進め、学校の応援団として子どもたちの豊かな成長と健やかな育ちを支えています。

学校だよりやHPなどでお知らせ致しますので、ぜひご覧下さい。

